

令和3年度 青少年子ども部 運営方針

1 中長期的な運営方針(組織目標)

- (1) 第2次新かすがいっ子未来プランに基づき、子ども・子育て支援施策を推進します。
- (2) すべての子どもたちが安全安心な環境において、健やかに成長できるように、保護者や地域住民、市民活動団体、民間企業との連携・協力を重視しながら、子どもの居場所や子育て支援の環境を充実します。
- (3) 多様で良質な保育サービスの提供を行うとともに、保育ニーズの増加や多様化に対して、適切なサービス供給量を見極めるとともに、民間活力も活用して取組を推進します。

2 成果指標(目標値)

	成果指標 〈単位〉	現状		目標	
		年度	数値	年度	数値
(1)	子育てしやすいまちと思う人の割合〈%〉 ※未就学児の保護者 ※1	平成30	63.3	令和5	75.0
(2)	基本施策「出産や育児に対して負担や不安が少ない」について、不満、どちらかといえば不満と回答した20～40代の割合〈%〉 ※2	平成28	23.0	令和3	15.0
(3)	放課後児童クラブの待機児童数〈人〉 ※放課後児童クラブの利用を希望し、かつ他の放課後事業を利用していない児童 ※5月1日時点 (H31 (R1) 年度は、16人)	令和2	0	令和4	0
(4)	保育園の待機児童〈人〉 ※4月1日時点	令和3	0	令和4	0


※1 「子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書」平成31年3月


※2 「市民意識調査に関する報告書」平成29年2月


3 重点施策

(1) 第2次新かすがいっ子未来プランの推進	
概要	令和2～6年度の計画期間の2年度目。4つの重点事項の取組を推進します。
取組	<p>① 妊娠から子育てにわたる切れ目のない支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター機能の充実（相談、健診の充実） ・子ども家庭総合支援拠点の整備（～R4） ・出産前後の支援の充実（多胎児家庭の支援） ・一時預かり事業の拡充（JR春日井駅南口一時保育室9月開設、私立保育園一時保育拡充実施（1園）、利用予約システム導入） <p>② 保育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別の保育需要に応じた保育園新設・建替（R4白山運動広場内私立保育園開設、R5藤山台保育園及び高座保育園リニューアルオープン） ・特別支援保育（1園）、土曜日保育時間の延長（4園）、休日保育（1園）の拡充実施 ・3歳未満児の育休退園の段階的見直しの検討 <p>③ 放課後児童の居場所の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの家、民間児童クラブ、放課後なかよし教室、サマー・スクールかすがいの周知啓発。民間学童クラブの利用促進 ・グリーンパレス春日井内子どもの遊び場設置（2月）・交通児童遊園の実施設計（R5年度リニューアルオープン） <p>④ 不登校やひきこもり児童生徒への切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の関係機関等の資源整理と相互役割理解の取組検討 ・不登校・ひきこもり支援のネットワークづくり（ひきこもりの子を抱える保護者・当事者・元ひきこもり者との懇談会開催）

(2) 妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制の充実	
概要	アンケート調査において、子育てに関して気軽に相談できる先として「子育て世代包括支援センター（子ども政策課）」をあげたのは、未就園児世帯においてわずか1.5%でした。そのため、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制について、認知度が高い総合保健医療センター3階を母子保健事業の拠点とし、子育て世代包括支援センター機能の充実及びPR、また、子ども家庭総合支援拠点の整備に向けて準備します。
取組	<p>① 子育て世代包括支援センター機能の充実及び子ども家庭総合支援拠点の整備に向けた準備</p> <p>② 子ども政策課、保育課、総合保健医療センターを中心とした相談窓口の充実</p>

(3) 保育園の新設・建替整備		
概要	<p>保育需要の高い中部中学校区等において、令和4年度の受入増加を図るため、私立保育園等を誘致します。</p> <p>また、白山運動広場内において、新たに私立保育園の令和4年度開設に向けて取り組みます。</p> <p>さらに、公共施設個別施設計画に基づき、藤山台保育園及び高座保育園の令和5年度のリニューアルオープンに向けて、準備を進めます。</p>	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 中部中・南城中学校区における私立保育園・小規模保育事業所の誘致 ② 白山運動広場における私立保育園の建設工事の進捗状況の把握 ③ 藤山台保育園及び高座保育園の利用者・近隣住民に対して建替整備に関して随時説明 ④ 藤山台保育園の移転先である藤山公園の造成工事 	

(4) 子どもの遊び場充実		
概要	<p>「子はかすがい、子育ては春日井」宣言の推進において、子どもにとって「遊びは学び」であることを重視し、天候に左右されない屋内遊びを求める市民の声を反映するなど、より魅力的な子どもの遊び場を充実するため、既存施設のグリーンパレス春日井内に、子どもの遊び場を整備します。</p> <p>また、交通児童遊園の建替整備においては、施設の特徴を継承しつつ、子どもの遊び、地域とのつながり、交通安全施策の組織横断的な取組の推進をめざします。</p>	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーンパレス春日井における子どもの遊び場の整備 ② 交通児童遊園建替整備の実施設計 	

(5) 不登校・ひきこもり支援のネットワークづくり		
概要	<p>本市の不登校児童生徒が増加する中、不登校児童生徒の学力維持や居場所の充実が求められており、中学校卒業後のひきこもりの実態把握が困難であることから、市教育委員会だけでなく、地域やその他関係機関が連携するとともに、不登校やひきこもりの要因や年齢に応じた組織横断的な切れ目のない支援のネットワークづくりに取り組みます。</p>	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 先進地の取組の調査を踏まえ、本市における支援の資源をあらためて整理する中で、課題を明確化 ② 地域福祉課における重層的支援体制づくりのための地域支援研究会における検討を踏まえ、関係機関相互の役割理解が進むように、子ども・若者総合支援地域協議会子ども・若者支援部会の活用を検討 	

(6) 子育て支援施設の各種事業の最適化検討



概要

より効果的・効率的に子育て支援施策を推進するため、他自治体の取組事例を参考にしつつ市民ニーズの変化を捉え、児童館を含む子育て支援拠点施設の各種事業の点検、見直し事項の整理、新規事業の必要性を検討します。また、運営方法についても多角的に検討します。

取組

- ① 現在取り組んでいる各種事業について、公民のパートナーシップの観点から他自治体の取組との比較を通じ、事業効果、実施方法などを評価
- ② より適当な事業の運営及び新たな事業の実施について検討